学校番号	122

平成31年度　　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会　（実教出版）						
副教材等	クローズアップ現代社会　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会のさまざまな課題について当事者意識をもって考えてみよう。
・「なぜそうなるのか？」という疑問を大切にしよう。
・自分と社会のかかわりを考えてみよう。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深め，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート ［主題学習］ 振り返りシート	定期考査・ワークシート ［主題学習］ レポート 実習での発表内容	定期考査・ワークシート ［主題学習］ レポート 実習での発表内容	定期考査・ワークシート ［主題学習］ レポート 実習での発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	私たちの生きる社会	第1部　私たちの生きる社会 1章地球環境問題 2章資源･エネルギー問題 3章生命科学と情報技術の課題 　高度情報社会と私たちの生活 第2部　現代の社会と人間 第1章　現代に生きる青年 1章　自分らしく生きる 2章　人間としてよく生きる 3章　日本人としての自覚 第2部　現代の民主政治と日本国憲法 第1章　現代国家と民主政治 第2章　日本国憲法の基本的性格 第3章　日本の政治機構と政治参加	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:①現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。②青年期に対する関心を高め、自己形成の課題を意欲的に追究し、現代社会に生きる青年としての自己の生き方について考察しようとしている。②現代の民主政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主社会における人間としてのあり方について考察しようとしている。③現代の民主政治の法に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人の尊重と法の支配について考察しようとしている。 b:学習内容にあげる現代社会の諸問題に対して自己との関わりに着目して課題を見出し、幸福、正義、公正などの観点から多面的･多角的に考察し、いかに生きるかについて社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 c:学習内容にあげる現代社会の諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して効果的に活用している。 d:学習内容にあげる現代社会の諸問題の現状や課題、また、社会のあり方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 確認テスト ワークシート 振り返りシート レポート 実習 観察等

2	現代の社会と人間	第3章　日本の政治機構と政治参加6選挙制度 7世論と政治参加 4　国際社会と人類の課題 第1章　国際政治の動向 1国際政治と国際法 2国際的な人権保障と国際政治　　3国際連合と国際協力　　4冷戦の成立とその崩壊　　5今日の国際政治 6人種民族問題 7軍拡競争から軍縮へ 8国際平和と日本の役割 3　現代の経済社会と国民生活 第1章　現代の経済社会 1経済主体と経済活動の意義 2経済社会の変容 3市場のしくみ 4市場の失敗 5現代の企業	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の経済社会の諸事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動のあり方について考察しようとしている。 b:現代の経済社会の諸事象から課題を見出し、個人や企業、政府の経済活動における役割と責任などについて幸福、正義、公正などを用いて多面的に考察し、経済活動のあり方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:現代の経済社会に関する資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:現代の経済社会の変容、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融、経済成長や景気変動について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 確認テスト ワークシート 振り返りシート レポート 実習 観察等
3	国際社会と人類の課題	第2章　国際経済の動向と国際協力1貿易と国際収支 2外国為替市場のしくみ 3第二次世界大戦後の国際経済　　4地域的経済統合の進展　　5こんにちの国際経済　　6発展途上国の諸問題 7経済協力と日本の役割 第3部　ともに生きる社会をめざして 1WTO体制と発展途上国 2個人の自由と持続可能な社会	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:①国際経済における政治や経済の諸問題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察しようとしている。②哲学や宗教に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。③持続可能な社会の形成に対する関心を高め、それに参画するという観点から現代社会における課題を意欲的に探究し、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方について考察を深めようとしている。 b:国際経済の動向や諸問題から課題を見出し、国際平和や国際協力、国際協調の必要性及び国際的な組織の役割について幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:発展途上国の経済と南北問題、人口問題、東日本大震災後のエネルギー問題等に関する資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:①国際社会の動向、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題。核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差、国際的な組織の役割について理解し、その知識を身に付けている。②哲学や宗教について自己の生き方に関わらせて考察する方法について理解し、その知識を身に付けている。③持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 確認テスト ワークシート 振り返りシート レポート 実習 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。